

(科目コード : 1100220061Y4)

【改訂】第26版(2014-03-17)

【科目】古典

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】後期・1単位

【対象学科・専攻】4組 1年

【担当教員】田村 祐子, 田貝 和子

【授業目標】

- 古典を学習する意義を理解し、古典に親しむ態度を養うことができる。
- 古文の学習に必要な基礎的知識を習得し、活用できる。
- 古語と現代語を対照し、日本語の特質について理解を深めることができる。
- 古典の読解・鑑賞を通して、思想や文化の普遍性・個性について考察する視座を広げることができる。

【教育方針・授業概要】

古文の組み立て、語句の働き、表記のしかたを理解し、文章の主題や要旨を的確にとらえる方法を学ぶ。
古文教材として『宇治拾遺物語』『徒然草』『伊勢物語』を取りあげて読解・鑑賞する。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：精選国語総合古典編：明治書院：978-4-625-00410
参考書：新・要説文語文法 四訂版：日栄社：978-4-8168-1211-8

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

必要に応じて視聴覚教材を用いる。

【メッセージ】

中学校でもすでに古文に接してきたでしょうが、また改めて入門するつもりでがんばりましょう。

【成績評価方法】

[後期]中間試験：40%、期末試験：40%、レポート：10%、小テスト 10%

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(古典)

| 回数 | 授業の主題 | 内容 | レポート | 宿題 |
|-----------|--------|---|------|------|
| 第1回 | ガイダンス | (1) 古文学習の意義を理解する。 (2) 授業の目的・概要を把握する。 | | |
| 第2回～第3回 | 宇治拾遺物語 | (1) 歴史的仮名遣いを理解する。 (2) 内容をとらえながら正しく音読する。 | | |
| 第4回～第6回 | 徒然草 | (1) 基本的な古語の意味や使い方理解する。 (2) 随筆文学の特質を理解する。 | レポート | |
| 第7回 | 品詞の分類 | (1) 古語の品詞の特質を理解する。 (2) 品詞分類の手順を会得する。 | | |
| 第8回～第9回 | 用言の活用 | (1) 活用・活用形・活用の種類といった文法用語を理解する。 (2) 古語の用言の活用について理解する。 | | 小テスト |
| 第10回～第13回 | 伊勢物語 | (1) 歌物語の面白さを読み味わう。 (2) 文法をふまえながら現代語訳する。 | | |
| 第14回～第15回 | 助動詞 | (1) 古語の助動詞の特質や働きについて、体系的に理解する。 (2) 教科書の古文教材を参照して、いろいろな助動詞の意味を理解する。 | | 小テスト |